

令和元年度第7回 宇部市インターネット市民モニターアンケート集計結果

1 アンケートのテーマ

『防災情報について』

- (1) 実施期間 令和元年10月15日（火）～10月27日（日）まで
- (2) 担当部署 防災危機管理課

2 モニター数・アンケート回答者数

- (1) メール到達モニター数 478 人
- (2) 回答者数（回答率） 147 人（30.8 %）

3 回答者の属性

※ 端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

【年代】

項目	回答者数	比率	グラフ
10歳代	5 人	3.4 %	
20歳代	2 人	1.4 %	
30歳代	19 人	12.9 %	
40歳代	28 人	19.0 %	
50歳代	33 人	22.4 %	
60歳代	33 人	22.4 %	
70歳代	26 人	17.7 %	
80歳代	1 人	0.7 %	

147 人



ご協力、ありがとうございます

【居住校区】

項目	回答者数	比率	グラフ
東岐波	3人	2.0%	
西岐波	11人	7.5%	
恩田	18人	12.2%	
岬	4人	2.7%	
見初	3人	2.0%	
上宇部	12人	8.2%	
神原	1人	0.7%	
琴芝	8人	5.4%	
新川	6人	4.1%	
鵜の島	5人	3.4%	
藤山	8人	5.4%	
原	4人	2.7%	
厚東	1人	0.7%	
二俣瀬			
小野	2人	1.4%	
小羽山	2人	1.4%	
常盤	14人	9.5%	
川上	13人	8.8%	
厚南	11人	7.5%	
西宇部	7人	4.8%	
黒石	7人	4.8%	
船木	1人	0.7%	
万倉	1人	0.7%	
吉部			
在学・在勤	5人	3.4%	

N=147

【性別】

項目	回答者数	比率	グラフ
女性	68人	46.3%	
男性	79人	53.7%	

N=147

4 回答集計

- ※ 比率は、各設問の回答対象数（N）に対する割合を示しています。
- ※ 単数回答であっても、端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

『防災情報について』

担当部署 防災危機管理課

アンケートの趣旨

近年、全国各地で地震・豪雨・台風などの自然現象による大規模な災害の発生などにより、普段から各自で防災に対する意識を持つことが非常に重要な状況となっています。

災害発生時に被害を少なくするには「自助」や「共助」という考えが重要であり、自分自身で、早めの避難を判断するために様々な情報を収集することや、災害に対する正しい知識を持っておくことが必要となります。

本アンケート調査で、市民の皆さんがどれくらい防災に対する意識を持たれているのか把握するとともに、市民の皆さんの防災・減災を考えるきっかけとなり、家庭や地域での防災対策に役立てることができれば幸いです。

【Q1】防災情報はどのように収集していますか。（複数回答可）

項目	回答者数	比率	グラフ
・テレビ	133 人	31.0 %	
・ラジオ	38 人	8.9 %	
・インターネット	110 人	25.6 %	
・防災メール（うべメールサービス）	95 人	22.1 %	
・SNS（フェイスブック、ツイッターなど）	37 人	8.6 %	
・宇部市公式LINE	12 人	2.8 %	
・固定電話配信サービス			
・その他（ ）	4 人	0.9 %	
その他	新聞、学校の授業、NHK防災ニュース アプリ、ヤフー天気、フェイスブック、ツイッター		

N=429

【Q2】防災情報の収集にあたって、不安に思われることはありますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
・ある	50 人	34.0 %	
・ない → 【Q4】へ	97 人	66.0 %	




N=147

【Q3】防災情報の収集に不安があると回答した方について、どのような点に不安がありますか。（自由記述）

自由記述の内容

別紙

【Q4】緊急時に発表される5段階の「警戒レベル」について、どの程度知っていますか。

項目	回答数	比率	グラフ
・5段階の各警戒レベルが何を意味するのか知っている。	61 人	41.5 %	
・全てではないが、部分的に知っている内容がある。	73 人	49.7 %	
・警戒レベルという言葉聞いたことはあるが、よく知らない。	13 人	8.8 %	
・警戒レベルという言葉初めて聞いた。			

N=147

【Q5】携帯電話又はスマートフォンを持っていますか。

項目	回答数	比率	グラフ
・持っている	143人	97.3%	
・持っていない → 【Q7】へ	4人	2.7%	

N=147

【Q6】お持ちのスマートフォンは、緊急速報メール・エリアメールを受信することができますか。

項目	回答数	比率	グラフ
・受信できる	129人	90.2%	
・受信できない	9人	6.3%	
・わからない	5人	3.5%	

N=143

【Q7】今年（2019年）の8月28日（水）、8月29日（木）に、宇部市では避難勧告や災害発生情報といった避難情報について、一部地域を対象に発令しました。宇部市からの避難情報をどのような手段で知りましたか？（複数回答可）

項目	回答者数	比率	グラフ
・テレビやラジオ	51人	20.4%	
・緊急速報メール・エリアメール	98人	39.2%	
・防災メールや宇部市公式LINEなど、宇部市が提供する防災情報サービス	62人	24.8%	
・広報車	5人	2.0%	
・家族や友人、地域の方などからの情報提供	11人	4.4%	
・知らなかった → 【Q11】へ	20人	8.0%	
・その他（ ）	3人	1.2%	
その他			

N=250

【Q8】情報の入手後、避難行動につながりましたか。

項目	回答者数	比率	グラフ
・避難した → 【Q9】へ	1人	0.8%	
・避難しなかった → 【Q10】へ	126人	99.2%	

N=127

【Q9】情報入手後に避難行動を起こした方にお尋ねします。避難の決め手となった情報伝達手段は何でしたか？（複数回答可）

項目	回答者数	比率	グラフ
・テレビやラジオ	1人	50.0%	
・緊急速報メール・エリアメール	1人	50.0%	
・防災メールや宇部市公式LINEなど、宇部市が提供する防災情報サービス			
・広報車			
・家族や友人、地域の方などからの情報提供			
・その他（ ）			

N=2

**【Q10】 情報入手後に避難行動を起こさなかった方にお尋ねします。
避難しなかった理由は何ですか？（複数回答可）**

項目	回答者数	比率	グラフ
・避難対象区域に居住していなかった	109人	85.2%	
・避難対象区域に居住しているが、避難の必要性を感じなかった	12人	9.4%	
・避難情報の内容が分からなかった	1人	0.8%	
・その他（ ）	6人	4.7%	
その他			

N=128

**【Q11】 防災情報やその収集・伝達について、あなたのご意見や思うこと
などがあれば、ご自由にお書きください。**

自由記入の内容
別紙

担当部署による総括

幅広い世代から御回答いただき、防災というトピックスが市民共通の関心事項であることを再認識いたしました。入手した情報の正確さに不安を感じているとの回答が多く寄せられており、正確な防災情報を必要なタイミングでお届けすることが強く行政に求められていると感じました。また、いくつか質問のありました防災無線につきましては、現在「宇部市防災情報伝達手段整備計画」に基づき、令和3年度の運用開始を目標に屋外スピーカーの設置を進めているところです。これと併せて同計画に記載しております緊急時自動起動防災ラジオの整備も進めており、より多くの手段で市民のみなさまへ防災情報を伝達できるよう取り組んでまいります。

ここ数年、宇部市では自然災害による大きな被害は出ておりません。しかし、過去を遡ると昭和17年の周防灘台風や平成11年台風18号によって甚大な被害を経験しており、いつまた同等以上の自然災害に見舞われるかは予測できません。今回のアンケートがみなさまにとって、災害に備えて行動したり、防災について考えたりするきっかけになれば幸いです。

Q3 防災情報の収集に不安があると回答した方について、どのような点に不安がありますか。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
1.情報の内容	男	50	今、自分が居る場所が危険なのか？ 自分の住居が危険なのか？ 自分の会社が危険なのか？ 漠然としている。
1.情報の内容	男	60	宇部市といっても、旧楠町と旧市街地とはだいぶ気候や地形などが異なる。宇部市全体の避難災害情報は大騒ぎしそう。もちろん、知っていて役立つことはいいんだろうけど。情報を受ける側の、情報を噛み砕く力がいると思います。通常に受け取っている情報以外に何か地域に即したデータを探し出す方法があれば助かります。
1.情報の内容	女	30	あまりに警報の音を鳴らすのが過剰。 前の時も小野とかのほんの一部が危ないだけなのに…けど、まあしょうがないんでしょうねー。今回のような大災害が起きる時こそ、命の危機の時は有難いと思う。もう少し詳細を知れるとうれしい。ダムの情報とか川とか。
1.情報の内容	男	50	どのような災害がどこで起こっていて避難場所はどこなのかを、確実にアナウンスして欲しい。
1.情報の内容	女	40	自分の住む地域の情報が入ってくるのかどうか。
1.情報の内容	男	60	自宅前に川があり、雨量がどのくらいの量で氾濫・危険水位になるか、真締川の水位により逆流してくるのか、目安的なものがありますか。福祉会館・多世代ふれあいセンター等は避難するときは夜中でもできるのですか？
1.情報の内容	男	30	確からしさの確認が取れないこと。
1.情報の内容	男	40	各地域の情報が出て、その地域内でもそれなりに広範囲であるので、実際の状況確認を行った上で、その場所に即している情報なのかどうか不安。
1.情報の内容	男	50	その情報が正しいのかどうか。
1.情報の内容	男	70	防災情報の内容（避難箇所）に疑問。
1.情報の内容	女	60	情報が正しいかわからない。
1.情報の内容	男	50	適切な内容ではなかった。
1.情報の内容	男	70	意外と広範囲の情報で、例えば厚南地区、際波台付近などのより詳細な情報がほしい。 要配慮者など本当に情報を必要としている人に確実に届いているのか不安。
1.情報の内容	男	60	住居付近の情報が的確に分からない。
1.情報の内容	男	40	確実に連絡が入る・情報が取れるのか、漠然とした不安あり。(特に外出時など)
2.備えが不十分	男	10	ハザードマップを入手していないこと。
2.備えが不十分	女	30	避難場所にペットと一緒に避難できるか。

Q3 防災情報の収集に不安があると回答した方について、どのような点に不安がありますか。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
2.備えが不十分	女	40	土地勘がないので、どのあたりかわからないことがある。
2.備えが不十分	男	30	防災無線があれば
2.備えが不十分	男	70	情報の流れがわからない。 市に従うのか、自治会に従うのか。自己責任の大切さは理解しているが、避難方法などで市の支援はあるのかどうか。 我が自治会では誰も理解していないと思います。すべて自己責任でやるのであれば、そのようにしますが。
2.備えが不十分	男	60	必要な情報が届いているのだろうか？ と思うことがある。
2.備えが不十分	男	60	避難情報などの用語の意味がわかりにくい。
2.備えが不十分	男	70	市民全員に避難場所を周知しているか、またお年寄りの世帯がどこにあるのか、日ごろから避難訓練をするように指導してほしい。
2.備えが不十分	男	40	基本的に宇部市民は防災意識が低いということ。災害が起こらない想定で生活をしているので、大きな災害が起こるとパニックになる可能性が非常に高い。
3.災害時の対応	女	40	厚東川が近くにあるので、氾濫した場合不安です。予想を超えることもあるかもしれないので。
3.災害時の対応	男	70	停電などによりインターフェイスが途絶えた場合
3.災害時の対応	男	30	停電による通信障害が発生すると、すべてのデジタル情報が遮断される。
3.災害時の対応	女	50	実際に災害が起こったときに、きちんと通信ができるのか。
3.災害時の対応	女	30	電気が止まってしまった場合に、情報収集できなくなること。
3.災害時の対応	男	30	インターネットでの、情報収集に頼りたいが、停電時に使えずにパニックになりそうです。
3.災害時の対応	男	70	混乱して電波障害等で通信不能となった時、及び停電
3.災害時の対応	女	60	自宅は高台の集合住宅なので在宅時には不安がないが、土地勘も知り合いもない出先での地震など予測できない災害については不安である。
3.災害時の対応	女	30	電波がないと、何もできない
4.判断	男	60	情報収集にはいろんな方法があるが、内容が違うことがあり何を基準に判断すべきか迷うことがある。
4.判断	男	40	その情報が本当に正しいのかリアルタイムの情報なのか、その時に正しく整理できるか不安。
4.判断	女	50	避難の判断がわからない
4.判断	女	50	水害の場合の避難場所へ行く途中が水没している可能性がある。早めの避難が必要かと思っているが、その情報がどの段階で入り、避難に踏み切れるかということ。

Q3 防災情報の収集に不安があると回答した方について、どのような点に不安がありますか。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
4.判断	女	20	私自身は情報を得る手段を持っているが、それを取捨選択することが難しい。情報が多すぎてもどれが正しいのか、わからないときがある。
4.判断	女	70	市内全域「全員避難」指示が出た場合でも、素直に従えるか自分自身に自信がありません。というのも、当地は、ある程度海拔差があり、津波や川の氾濫の被害はなかりとう「勝手に」思っているからです。
4.判断	男	30	正しい情報が何か判断しかねる。
5.迅速な情報	男	60	<p>普段テレビは点けていないし、防災メールの着信は把握していても、すぐに確認できないことがあるので、緊急を要する時に情報の収集が早急に出来ないことがある。</p> <p>市内にある事業所や工場に防災情報を提供し、該当する職員等がいる場合には、家族等に連絡を入れて、防災に努める等の手段は執ってあるのか不明です。</p>
5.迅速な情報	女	30	情報がリアルタイムで更新されていない
5.迅速な情報	女	50	情報の正確さ、タイムリーなものか 情報収集出来ない状況になるのではないか
5.迅速な情報	女	40	速さと正確さ
5.迅速な情報	女	50	メールは、直ぐに読まないことが多いので、後になって知ることが多い。急いで対応したい場合にメールを探すのも大変なので、正直あまり役立ってない。
5.迅速な情報	女	40	リアルタイムかどうか。ズレがある。
5.迅速な情報	女	50	snsの方が画像でわかり情報も早い様に感じる
5.迅速な情報	男	50	報道が遅れたり、現実と違うところ。
5.迅速な情報	男	50	正しいのか、最新の情報なのか？今回の台風でも避難勧告は川の決壊、浸水が始まったあとの町があったよう。防災情報だけに頼ると大変なことになりそう。
5.迅速な情報	男	50	必要なタイミングで必要な情報が確実に手に入れられるのか？

Q11 防災情報やその収集・伝達について、あなたのご意見や思うことなどがあれば、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
1.防災情報	男	60	情報連絡網は作ってあるが、不在の場合は飛ばして次の者へ連絡するようになっており、平日日中の場合はほとんどの方に、情報の伝達が行われない、
1.防災情報	女	20	スマホなどの情報機器に弱い方が避難に困ると思う。情報難民になる。独り暮らしの高齢者の方などが、簡単により正確な情報を得られるようなシステムへ変換していくことができればと考える。
1.防災情報	女	50	携帯電話を持っていなければ、情報が入らないようになると高齢者には対応が遅れると思うので、携帯電話以外でも周知できるようにしてほしい。
1.防災情報	男	50	まだまだ、防災意識が低い方が多いと思います。防災情報や伝達を、今以上に早期の段階で行うと良いのでは。
1.防災情報	男	50	警戒レベル4の避難勧告や避難指示の言葉の発する意味が弱い気がしています。いっそ「避難命令」くらいにしないと切迫感が出ないのではないかと…。
1.防災情報	男	60	避難情報の収集方法について、広報に詳細を記載すると良いと思います。
1.防災情報	女	50	大雨、強風時、難聴の老人には広報車の声は聞こえません。ポケベルの周波数が防災に使えませんか。
1.防災情報	男	60	デジタル系の伝達も大事だが、広報車による伝達も年寄りにとっては必要なことでないだろうか。
1.防災情報	男	70	夜間(寝ている時)に情報伝達を確実に知ることができるか不安である。予測される時は、事前に情報に注意するように呼びかけも必要と思う。
1.防災情報	女	50	数日前の台風19号でも同じことが言えますが、警戒レベルの発表が遅いので逃げ遅れる人が多い事や、高齢者や子ども等はネット・メール等でのデジタルデバインドで情報収集出来ない人が多いので、他の発信手段も必要。
1.防災情報	男	60	もっと地域を細かく分けて情報を流してほしい。
1.防災情報	女	50	防災メールはとてたすかるが、停電や電池切れになった場合の事を考えると不安になる。千葉の例もあり、電気が止まったらおしまいだという不安は否めない。
1.防災情報	女	40	情報のでるタイミングが不安。「時すでに遅し」な情報があるから。
1.防災情報	男	80	スマートフォンへの発信がベストだと思います
1.防災情報	女	50	広報車が回っているのは聞いたことがないです。
1.防災情報	男	60	避難対象区域が的確に理解できる内容にして欲しい。

Q11 防災情報やその収集・伝達について、あなたのご意見や思うことなどがあれば、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
1.防災情報	男	50	個人的に、ヤフーやNHKの防災メールも受信して、他地域の情報も入手しています。宇部市の防災メールに機能があるか知りませんが、個人的によく行く場所（私は山口市）の情報も入手できればよいと思います。
1.防災情報	男	40	有事は時間との勝負だと思います。広く・早く・抜けなく災害情報を共有させる仕組みが大切だと思います。市や自治組織の役割は大きいと感じます。
1.防災情報	女	50	情報はスマホで確認することが多いので防災メールはとても助かります。防災メールから詳しいサイトに飛べたりできるとありがたいです。
1.防災情報	男	40	避難勧告等の情報は居住エリアに限定できないものか。かなり離れたエリアであっても緊急メールが届く仕組みになっている。SNS等を利用して、個人が情報を発信するが、これが非常に危険。対策が必要ではないか。
1.防災情報	男	60	高齢者の方は、パソコンやスマホを持っていない方も多くホームページを見て下さいといっても無理だと思う。自治会等を通じてどのように周知するか具体的に考えておく必要がある。避難の移動手段も考えておく。
1.防災情報	男	60	宇部市としても、発信したことがちゃんと届いたかどうか、フィードバックされれば、さらなる伝達状況が把握できると思います。
1.防災情報	男	50	対象エリアをまるで考慮しない緊急速報メール配信の有用性に疑問を感じる。厚東川から充分離れた市街部在住者にまで河川氾濫情報が必要だろうか。無用に多い緊急速報メールは、受信者が配信慣れを起こす恐れがある。
1.防災情報	男	30	避難指示の情報メールの際に、その地域の避難場所情報があると良い。
1.防災情報	男	60	近年、自然災害が多いせいか、避難情報がすぐにわかるようになってきた。様々な媒体を駆使して情報伝達を行ってほしい。媒体をうまく利用できないお年寄りに対しては直接ご家庭行くなどして、伝達してほしい。
1.防災情報	女	40	少ないと思います。地震、台風などの時に迅速な行動ができるように、伝達してもらいたいです。
1.防災情報	女	30	判断を緩くして危険です。急に言われて避難をするのは難しいし、夜だとさらに動きたくない。頼れるのはメールと消防の方たちの判断力。夜でも本当に危険ならサイレンでもクラクションでも鳴らしてください。

Q11 防災情報やその収集・伝達について、あなたのご意見や思うことなどがあれば、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
2.地域交流	女	50	慣れ親しんだ地域名が消え、〇〇南△丁目などと表示されるようになり、同じ校区内でもそれがどこなのかわかりづらくなりました。そのようなことも含めて、地域に関心を持ちご近所と共有する機会を得たいと思います。
2.地域交流	男	50	宇部市においては、高齢者だけの世帯が多い。また、一人暮らしの世帯も増えてきているように思う。横のつながりを密にして、お互いに助け合う環境を作っていく必要性を感じる。
2.地域交流	女	60	スマホなどを持たない高齢者が、避難情報を得る手段を各自治会で確認するとよいのでは。要支援者について民生委員が把握していることは知っているが、緊急時支援できる人を増やす必要がある。
2.地域交流	男	60	最後は、自治会の協力が必要と思う。 自治会の訓練をやった方がいいと思う。
2.地域交流	女	30	メールはありがたいです。でも、高齢者の方などには登録していない方も多いので、ご近所の方など気をつけたいと思っています。
2.地域交流	男	30	最終的には近所の交流が大切になると思う。防災以外の面でも、地域で交流し、情報伝達がスムーズになる仕組みや雰囲気作りが必要だと思う。
2.地域交流	女	60	私の住んでる場所は、避難対象区域ではないが、年配の方が割と沢山居られるので、情報を知らない人もいます。 地域での、情報共有や声かけ、助け合いが必要だと最近の災害を見て特に思います。
2.地域交流	男	70	自主防災会のメンバーです。実際直面しても住民はこちらの思い通りには行動しないのが常ですが、何度も何度も啓発活動を通して理解して貰うよう、心掛けています。(メンバーに意識の低い人が多く意識改革を要す)
2.地域交流	女	30	地区でときどき電話による防災訓練をしているが、今どき電話はないと思う。つながるつながらない・・・としているうちにみんな死ぬ。
2.地域交流	男	70	防災情報はテレビ・スマホによる緊急速報で対応できると思います。昨今、近所付き合いのない状況で独居老人や地域の方々との共助体制が確立された市であってほしい。
3.備え・知識	男	10	それぞれの災害について、各家庭でどのような準備をするべきかを示したものがあれば、災害時に役立てられると思う。

Q11 防災情報やその収集・伝達について、あなたのご意見や思うことなどがあれば、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.備え・知識	女	50	明日は我が身と心構えが大切だと感じますが、川の氾濫など予測できない状況が起きた場合の避難の対処方法がわかりません。川の氾濫防止対策などは行われていますか？
3.備え・知識	男	60	受け取る側の教育・周知が必要。自治会ごとのセミナーなど開いてください。
3.備え・知識	女	70	一応公共機関の情報は大事だが、頼りっぱなしではなく、自分自身でも気を付けなければいけないと思う
3.備え・知識	女	30	普段から、意識しておく
3.備え・知識	男	30	自分がデジタルに頼った情報収集しかしていない。実際被災した際にはどういった場所にどのような情報が掲示されるのか分かっていると助かる。宇部市のBCP、地区のBCPの策定、情報発信が必要かも。
3.備え・知識	女	30	現在、携帯電話で情報を入手しています。携帯電話が繋がらなくなっても、ラジオを持っていますが、使いこなせるのか心配です
3.備え・知識	男	70	防災無線もなく、防災メールをすべて頼りにするわけにもいかず、NHK防災アプリで情報を収集している。隣人と声かけも必要と思うが普段の付き合いもない状態になっているので個人判断となる。
3.備え・知識	女	50	宇部市の防災メールに登録しているので台風、地震等すぐにメールが来るので、状況をすぐに把握でき今回も慌てることなく安心して過ごせました。
3.備え・知識	女	60	天気予報をはじめ、情報提供などは昨今の災害を教訓によくなされていると思う。あとは市民一人一人の心構え。被災者は情報を知らなかったとよく言うが情報をとる努力・工夫をしたのかと問いたい。
3.備え・知識	男	70	この件については不明なことばかりです。
3.備え・知識	女	40	8月の避難勧告で、どれ位の人が実際に動いたか知りたいです。取るものも取らずに直ぐに避難できる人は少ないと思うので、勧告が出て無くても、我が身に危険があると判断したら、早目に動く事が必要と思います。
3.備え・知識	女	60	一人暮らしの60代だが避難指示がでてでも犬がいるので避難はできかねます。そういう時の対処の仕方がわからない。
3.備え・知識	女	70	公共の情報のみでなく、自分自身でも気を付けなければと思う
4.行政	女	40	市役所にできることには限界があるので、今のままで十分

Q11 防災情報やその収集・伝達について、あなたのご意見や思うことなどがあれば、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
4.行政	男	60	この度の台風19号の川の氾濫の怖さを思い知らされ最近の風の強さ、雨量の多さに市でも適切な対応をお願いしたい。 川の氾濫時に市役所の駐車場は利用できるのですか？
4.行政	男	40	防災情報を得ても会社等の理解が無ければ避難できずに終わる人が多いと思う。もっと周辺企業等にも周知して社員を会社させない、入社後なら帰らせて家族と共に避難させる事を行政側から進めるようにしてほしい。
4.行政	女	50	携帯電話やスマホなどを持たない高齢者の方は十分に情報が行き届かないのではないかと思います。有線や防災無線などを無償支給する事は出来ないでしょうか。
4.行政	女	70	自治体の「判断」を出されることに、同情を覚えます。 どうしても、「安全圏」な内容にならざるを得ないと思いますが、受け手の私達は、「いやいや未だ未だ」と思う部分があって、申し訳ないなとも思います。
4.行政	女	40	隣近所への呼びかけを簡単にできるように制度として義務付けて欲しい。していか迷うため。
4.行政	男	60	行政機関の避難情報を信頼している。情報内容がすべて正確であるとは思わないが、人命最優先の方針で早めの対応を取ってくれていると考えている。たとえ情報に従い、取り越し苦労で終わったとしてもである。
4.行政	女	30	宇部に引っ越してきて、防災無線が無いことに驚きました。 何故無いのですか？
4.行政	男	70	沖ノ巨地区の避難個所、西宇部際波方面へ、は完全にナンセンス、ミス誘導。標高の低い地域の移動はかえって危険、距離も遠い。裏手の宇部西高校か、文京台方向なら納得なのだけれど。
5.その他	男	70	今で充分
5.その他	女	60	予測できる災害は最大限避けるべきだが、必然的に災害に遭うところに住み続ける人は自己責任もある。